

上場会社名 アトラ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6029 URL <http://www.artra-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06-6533-7622  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第3四半期の業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,282	42.7	183	23.2	158	△6.6	97	3.8
27年12月期第3四半期	1,599	54.4	148	216.4	169	221.9	93	302.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年12月期第3四半期	12.25		11.29					
27年12月期第3四半期	12.03		11.21					

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	3,024	1,387	45.9
27年12月期	2,398	815	34.0

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,386百万円 27年12月期 814百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年12月期	—	0.00	—		
28年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年12月期の業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,522	37.4	512	32.3	550	21.3	302	12.6	37.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年12月期 3 Q	8,229,200株	27年12月期	7,800,000株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

28年12月期 3 Q	266株	27年12月期	231株
-------------	------	---------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期 3 Q	7,953,628株	27年12月期 3 Q	7,799,852株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については添付資料2ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等に支えられ緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や英国のEU離脱問題等による円高・株安などを受け、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する鍼灸接骨院業界におきましては、柔道整復師、はり師・きゅう師の国家資格者が増加しており、新規開業数も順調に推移する状況が継続しております。

このような状況のもと、当社ではほねつぎチェーン加盟院数、アトラ請求サービス会員数、HONEY-STYLE利用院数ともに前事業年度末に比べ増加いたしました。また、前事業年度に引き続き、機材販売が順調に推移いたしました。一方で、東京証券取引所市場第一部に市場変更し、当該費用として営業外費用に28,691千円を計上しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高が2,282,364千円（前年同期比42.7%増）、営業利益が183,545千円（前年同期比23.2%増）、経常利益が158,134千円（前年同期比6.6%減）、四半期純利益が97,440千円（前年同期比3.8%増）となりました。

当社は鍼灸接骨院支援事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、支援内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

当第3四半期会計期間末におけるほねつぎチェーン加盟院数は、DM発送、WEB広告及び事業説明会等の新規オーナー開発等により、前事業年度末から14院増加し81院となりました。

以上の結果、売上高は691,235千円（前年同期比27.2%増）となりました。

#### ・アトラ請求サービス

柔道整復師、はり師・きゅう師の国家試験合格者数の増加に伴い、鍼灸院・接骨院の開業が順調に推移しております。このような環境のもと、他の療養費請求代行団体へ加入している鍼灸院・接骨院から当社への移行に加え、新規開業院に対するWEB広告を中心とした営業活動により、当第3四半期会計期間末における会員数は前事業年度末から307会員増加し2,002会員となりました。会員数の増加に伴い療養費請求代行処理件数も増加いたしました。また、療養費早期現金化サービス利用会員への貸付残高は前事業年度末から193,332千円増加し384,742千円となりました。

以上の結果、売上高は245,939千円（前年同期比17.4%増）となりました。

#### ・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEは、当第3四半期会計期間末における利用院数が、前事業年度末から35院増加し、509院となりました。また、HONEY-STYLE会員数は前事業年度末から38,058名増加し、255,107名となっております。しかしながら、ほねつぎアカデミーにて前第3四半期累計期間に開催した大型セミナーの反動減により、減収となりました。

以上の結果、売上高は205,776千円（前年同期比0.4%減）となりました。

#### ・機材、消耗品販売

機材販売につきましては、積極的な営業展開等により各種機材の販売が好調に推移いたしました。また、消耗品販売につきましては、アトラストア（ECサイト）を通じた販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,031,776千円（前年同期比109.0%増）となりました。

#### ・鍼灸接骨院経営コンサルティング

鍼灸接骨院に対する経営コンサルティングにつきましては、新規コンサルティング先の開拓を行わず、リアル院としては鍼灸接骨院経営コンサルティングに投じていた経営資源をほねつぎチェーンに集中させる方針であることから、売上高は68,070千円（前年同期比20.7%減）となりました。

#### ・介護支援、その他

ほねつぎ介護デイサービスの新規加盟店開発及び既存加盟店のロイヤリティ収入の増加に努めたものの、売上高は39,565千円（前年同期比34.4%減）となりました。なお、前事業年度より、介護に特化した営業人員が新規加盟店開発に注力する体制を構築しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ626,004千円増加し、3,024,344千円となりました。これは主に、現金及び預金が189,477千円、営業貸付金が193,332千円、投資有価証券が247,148千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ54,111千円増加し、1,637,203千円となりました。これは主に、未払法人税等が163,063千円及び長期借入金が100,278千円減少したものの、短期借入金が400,000千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ571,893千円増加し、1,387,141千円となりました。これは主に、剰余金の配当が23,399千円あったものの、公募増資等により資本金が248,948千円、資本剰余金が248,948千円増加したこと及び四半期純利益を97,440千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月5日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,277,882	1,467,359
売掛金	344,943	256,309
営業貸付金	191,409	384,742
商品	25,148	51,391
仕掛品	4,272	3,651
貯蔵品	1,792	7,534
その他	125,222	78,509
貸倒引当金	△244	△362
流動資産合計	1,970,426	2,249,136
固定資産		
有形固定資産	191,048	234,146
無形固定資産	85,323	147,049
投資その他の資産		
投資有価証券	73,845	320,994
その他	108,487	108,381
貸倒引当金	△30,792	△35,364
投資その他の資産合計	151,540	394,011
固定資産合計	427,913	775,208
資産合計	2,398,339	3,024,344
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	165,531	100,752
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	104,160	79,437
未払法人税等	190,300	27,237
収納代行預り金	557,972	519,570
賞与引当金	2,870	12,760
ポイント引当金	9,334	9,860
その他	225,614	252,435
流動負債合計	1,255,784	1,402,053
固定負債		
長期借入金	283,623	183,345
退職給付引当金	10,264	15,295
資産除去債務	24,057	29,106
その他	9,362	7,402
固定負債合計	327,307	235,149
負債合計	1,583,091	1,637,203
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	288,280	537,228
資本剰余金	314,595	563,544
利益剰余金	212,220	286,261
自己株式	△116	△159
株主資本合計	814,979	1,386,874
新株予約権	268	267
純資産合計	815,248	1,387,141
負債純資産合計	2,398,339	3,024,344

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,599,343	2,282,364
売上原価	989,416	1,407,579
売上総利益	609,926	874,785
販売費及び一般管理費	460,983	691,240
営業利益	148,943	183,545
営業外収益		
受取利息	862	733
受取家賃	3,000	2,999
受取手数料	4,186	5,396
助成金収入	—	4,083
解約料収入	12,200	3,500
その他	4,678	1,513
営業外収益合計	24,928	18,226
営業外費用		
支払利息	2,358	1,977
支払手数料	—	28,691
賃貸費用	1,640	1,579
固定資産除却損	—	3,720
その他	599	7,668
営業外費用合計	4,598	43,637
経常利益	169,273	158,134
税引前四半期純利益	169,273	158,134
法人税、住民税及び事業税	71,232	55,033
法人税等調整額	4,175	5,660
法人税等合計	75,407	60,693
四半期純利益	93,865	97,440

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月23日付で東京証券取引所市場第一部に市場変更し、平成28年6月22日を払込期日とする公募増資による払込を受け、新株式390,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ227,143千円増加しております。また、平成28年7月25日を払込期日とする第三者割当増資による払込を受け、新株式36,500株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ21,258千円増加しております。

加えて、新株予約権の行使により、新株式2,700株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ546千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が537,228千円、資本剰余金が563,544千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。